DVD±R/RW/RAM

I·O DATA

B-MANU200770-01

# DVR-S7170LEセットアップガイド

この度は、「DVR-S7170LE」（以下、本製品と呼びます）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に［本書］をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いいたします。

## 動作環境の確認

| | |
|---|---|
| 対応機種※1 | 本製品が取付可能なドライブベイ(5インチベイ)とSerial ATAインターフェイス※2を搭載したDOS/Vマシン |
| 対応OS※3 | Windows Vista™ Ultimate/Business/ Windows XP Service Pack 2 / Windows 2000 Professional Service Pack 4以降 |
| 搭載CPU※3 | Celeron D 310以上 |
| メモリ | 128MバイトIJ上 |
| チップセット | Intel 915/925/945/955/965/975 (ICH6(R)/ICH7(R)/ICH8(R) を搭載※4) |
| ハードディスク※3 | 空き容量 250Mバイト以上（イメージファイル作成時に最大約 8.5G バイトの空き容量が必要です） |
| 対応メディア※5 | ●DVD：DVD+R※6、※7、DVD+RW、DVD-R※7、※8、DVD-RW、DVD-RAM※9、DVD-ROM<br>●CD：CD-R、CD-RW、CD-ROM |

| | メディア | メディアの速度 | メーカー名 |
|---|---|---|---|
| 推奨メディア※10 | 1層DVD+R | 16倍速（最大18倍速書き込み※13） | 太陽誘電 |
| | | 16倍速 | 日立マクセル、三菱化学 |
| | | 8倍速（最大16倍速書き込み※13） | 太陽誘電 |
| | 2層DVD+R | 8倍速 | ソニー、日立マクセル |
| | | 8倍速 | 三菱化学 |
| | | 2.4倍速（最大4倍速書き込み※13） | 日立マクセル、三菱化学 |
| | DVD+RW | 8倍速 | 日立マクセル、リコー |
| | | 4倍速 | 三菱化学、リコー |
| | 1層DVD-R※11 | 16倍速（最大18倍速書き込み※13） | 太陽誘電、三菱化学 |
| | | 16倍速 | 日立マクセル |
| | | 8倍速（最大16倍速書き込み※13） | 日立マクセル |
| | | 8倍速 | ソニー、太陽誘電、三菱化学 |
| | 2層DVD-R | 8倍速 | 三菱化学 |
| | | 4倍速 | 三菱化学 |
| | DVD-RW※11 | 6倍速 | 三菱化学 |
| | | 4倍速 | TDK、ビクター、三菱化学 |
| | DVD-RAM※12 | 12倍速 | 日立マクセル |
| | | 5倍速 | Panasonic、日立マクセル |
| | | 3倍速 | Panasonic、日立マクセル |
| | CD-R | 三菱化学 | |
| | CD-RW | 三菱化学 | |

ご注意
- ●本製品はドライブベイ（5インチベイ）搭載タイプです。ドライブベイに空きが無い場合は、あらかじめ搭載済みのドライブを取り外す必要があります。
- ●取り付け後、フロントパネルが装作可能な機種でご使用いただけます。
- ●DVD+R、DVD+RW、DVD-R、DVD-RWメディアで作成したDVDビデオは、既存のプレーヤー、対応のゲーム機で再生可能ですが、一部再生できない機種があります。
- ●上記の条件を満たした場合でも、環境やメディアの品質によっては、ドライブの最大性能を発揮できない場合があります。またWindows Vista™でご利用の際にはより高性能な環境を推奨いたします。
- ●お使いのパソコンによっては BIOS設定が必要です。本製品が認識されない場合は、パソコンのBIOSを確認してください。パソコンのBIOSの設定方法はパソコンの取扱説明書をご覧ください。

## 製品仕様

| | |
|---|---|
| ドライブ名 | AD-7170S(OEM供給元：ソニーNECオプティアーク株式会社) |
| インターフェイス仕様 | Serial ATA |
| 設置条件 | 設置方向：水平、垂直（垂直は12cmメディアのみ対応） |
| ディスクローディング方式 | トレイタイプオートローディング |
| データバッファサイズ | 2Mバイト |

| 最大書き込み/読み込み速度 | DVD | | | | | | | | CD | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 1層+R | 2層+R | +RW | 1層−R | 2層−R | −RW | RAM | ROM | −R | −RW | ROM |
| 書き込み | ×18 | ×8 | ×8 | ×18 | ×8 | ×6 | ×12 | - | ×48 | ×32 | - |
| 読み込み | ×16 | ×12 | ×13 | ×16 | ×12 | ×13 | ×12 | ×16 | ×48 | ×40 | ×48 |

| | |
|---|---|
| 適合フォーマット | ●DVD：DVD-ROM、DVD-Video<br>●C D：CD-ROM Mode1、CD-ROM Mode2 (form1, form2)、CD-DA、CD-Extra、CD-I、Video CD、CD-TEXT、PhotoCD |

| | |
|---|---|
| 書き込み方法 | ●DVD+R/+RW：Disc at Once、Random Write、Sequential write<br>●DVD-R/-RW：Disc at Once、Incremental、Multi-Border、Restricted Overwrite※<br>●DVD-RAM：Random Write、Sequential Write<br>●CD-R/RW：Disc at Once、Session at Once、Track at Once、Packet Writing<br>※DVD-RWのみ |
| 平均アクセスタイム | ●DVD-ROM：160ms ●DVD-RAM：210ms ●CD-ROM：140ms |
| 定格電流 | 5V：1.5A、12V：1.0A |
| 電源仕様 | DC +5V±5%、+12V±10% |
| 動作温度 | +5～+35℃（パソコンの動作する温度範囲であること） |
| 動作湿度 | 20%～80%（結露なきこと） |
| 外形寸法 | 146(W)×170(D)×41.3(H)mm（フロントベゼル含まず） |
| 質量 | 約700g（本体のみ） |

※1 より詳しい対応機種情報をお客様自身で検索エンジンで検索できる方法をご案内しております。
http://www.iodata.jp/pio/

※2 ●Serial ATA 接続の DVD/CD デバイスに対応していること。詳しくはお問い合わせください。
●Serial ATA インターフェイスをRAIDモードに設定しないでください。
●動作させた Serial ATA 拡張カードインターフェイスには対応しておりません。
●本製品には Serial ATA ケーブル及び Serial ATA 電源ケーブルは添付しておりません。パソコン本体に添付されていない場合は別途ご用意ください。

※3 DVDメディアへ12倍速以上で書き込みを行う場合の推奨環境は、以下の通りです。
●推奨CPU：Pentium 4 2.8GHz以上
●ハードディスク：Ultra ATA/66以上（DMA転送モード）またはSerial ATA接続されたハードディスク
●OS：Windows XP Service Pack 2以降

※4 ICH5R/ICH7R/ICH8R の RAID モードには対応しておりません。

※5 ●書き込みは12cmメディアのみ対応しております。
●DVD-CDへの書き込みを行う際には、各々の書き込み装置に対応したメディアが必要です。

※6 2 層 DVD+R メディアにマルチセッションにて書き込みを行った場合、他のドライブでは最初のセッションのみ読み込むことができます。

※7 2 層 DVD±R メディアに「B's CLIP」にて書き込みを行った場合、他のドライブでは読み込むことはできません。

※8 2 層 DVD-R メディアへの書き込みは、ディスクアットワンスのみ対応しております。

※9 カートリッジから取り出し不可能なメディア（TYPE R）および2.6G バイト / 4G バイトのメディアには対応しておりません。

※10 ●推奨メディアは許永使用した場合は、メディアの品質により正常に書き込みできないことがあります。
●最新の情報は、弊社ホームページにてご確認ください。

※11 「B's Recorder GOLD 9 BASIC」にてコピー防止機能付きDVDを作成する場合には、推奨メディアをご案内しておりますメーカー製のCPRM対応 DVD-R/RW for VIDEOメディアをご利用ください。

※12 2倍速以下のメディアは読み込みのみ対応しております。

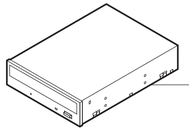
※13 弊社では記載の倍速メディアにてメディアの倍速を超える倍速の書き込みを確認しておりますが、全ての環境についてメディアの倍速を超える倍速の書き込みを保証するものではありません。また、メディアメーカーへの速いドライブのメディアの倍速を超える倍速の書き込みに関するお問い合わせはご遠慮ください。

# 1.準備しよう

## 内容物を確認します

□ にチェックをつけながら、ご確認ください。万が一不足品がございましたら、弊社サポートセンターにご連絡ください。

□ ドライブ（1台）



☑ DVD±R/RW/RAMセットアップガイド（本書/1枚）
□ DVD ツールズコレクション（CD-ROM/1枚）
□ 取り付けネジ（4本）
□ ハードウェア保証書（1枚）

ご注意 ハードウェア保証書について
「ハードウェア保証書」と「保証規定」は本製品の箱に印刷されております。
本製品の修理をご依頼いただく場合に必要となりますので、大切に保管してください。



### シリアル番号（S/N）をメモします

▼ シールサンプル

型　番　DVR-S7170LE
シリアル：A0A0000000aa
定　格：DC5V 1.5A、DC12V 1.0A
アイオーデータ機器

シリアル番号（S/N）は本製品底面に貼られているシールに印字してある12桁の英数字です。
（例：A0A0000000aa）
シリアル番号（S/N）は最新ファームウェアのダウンロードなどの際に必要な場合があります。

↓ここにシリアル番号（S/N）をメモしてください。

| | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | | | | |

**最新ファームウェア等のダウンロード**
http://www.iodata.jp/lib/

**ユーザー登録**
http://www.iodata.jp/regist/

以下はフロントベゼルを交換する際に使用します。フロントベゼルを交換する場合は本製品をパソコンに取り付ける前におこなってください。交換の手順については別紙「フロントベゼル交換ガイド」をご覧ください。

□ フロントベゼル交換ガイド（1枚）
□ 交換用フロントベゼル（1枚）
□ 交換用トレイカバー（1枚）
□ イジェクトピン（1本）







ご注意 取り外したフロントベゼルおよびトレイカバーは大切に保管してください。紛失した場合の対応はいたしかねますのであらかじめご了承ください。

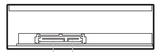
## 各部の名称

### ドライブ前面




イジェクトボタン
トレイの出し入れを行います。
緊急イジェクトホール
メディアが取り出せなくなった場合に使用します。
アクセスランプ
読み書き・イジェクト時に点灯/点滅します。

### ドライブ背面



Serial ATA電源コネクター
パソコンのSerial ATA電源ケーブルを接続します。
Serial ATAコネクター
パソコンのSerial ATAケーブルを接続します。

注意 アクセスランプの点灯/点滅中は、パソコンをリセットしたり、電源を切ったりしないでください。故障の原因になったり、データが消失する恐れがあります。

# 2.接続しよう

ご注意
- ●お使いのパソコンによっては、BIOSの設定が必要です。本製品が認識されない場合は、パソコンのBIOSを確認してください。パソコンのBIOSの設定方法はパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- ●Serial ATAインターフェイスをRAIDモードに設定しないでください。

### 手順.1

パソコンと周辺機器の電源を切り、パソコンの電源ケーブルをコンセントから抜きます。

### 手順.2

パソコンのルーフカバー、5インチベイのカバーを外し、本製品を取り付けます。
ルーフカバー、5インチベイのカバーについてはパソコンの取扱説明書をご覧ください。

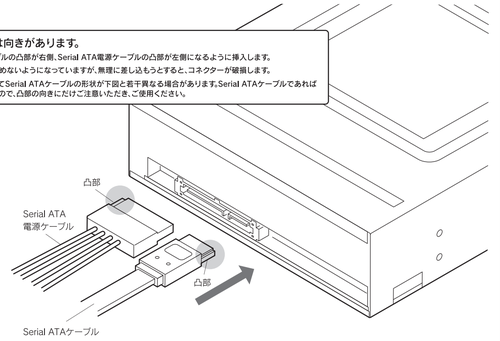
### 手順.3

各ケーブルを接続します。

**①Serial ATAケーブル**
パソコン本体から出ているSerial ATAケーブルを、本製品のSerial ATAコネクターに接続します。
※本製品にはSerial ATAケーブルを添付しておりません。パソコン本体にSerial ATAケーブルがない場合は、別途ご用意ください。

**②Serial ATA電源ケーブル**
パソコン本体から出ているSerial ATA電源ケーブルを本製品のSerial ATA電源コネクターに接続します。
※本製品にはSerial ATA電源ケーブルを添付しておりません。パソコン本体にSerial ATA電源ケーブルがない場合は、別途ご用意ください。

注意 ケーブルには向きがあります。
Serial ATAケーブルの凸部が右側、Serial ATA電源ケーブルの凸部が左側になるように挿入します。
逆向きでは挿し込めないようになっていますが、無理に差し込もうとすると、コネクターが破損します。
※パソコンによってSerial ATAケーブルの形状が下図と若干異なる場合があります。Serial ATAケーブルであれば仕様は同じですので、凸部の向きにだけご注意いただき、ご使用ください。




### 手順.4

添付のネジで本製品を固定します。
パソコンによって、ネジ穴の場所や数が異なります。詳しくはパソコンの取扱説明書をご覧ください。

### 手順.5

パソコンのルーフカバーを取り付け、ケーブルや周辺装置を元に戻します。

# 3.確認しよう

## 正常に使用できるかを確認します

Windowsを起動して［マイコンピュータ］（または［コンピュータ］）を開き、本製品のドライブアイコンが追加されていることを確認します。アイコンが追加されていれば、本製品をご使用いただけます。



↑（画面例：Windows XP）

**アイコンの追加を確認**
Windows Vista™の場合
Windows 2000の場合
※ドライブ文字（番号）は環境によって異なります。

## こんなときには

### アイコンが追加されていない場合

●［表示］メニューの［最新の情報に変更］をクリックしてみてください。
●ケーブルの接続が正しく行われているかをご確認ください。
（パソコンの電源を切り、再度ケーブルを抜き差ししてください。）

# 注意事項

## その他ご注意

●ケーブルを抜くときは、ケーブル部分を引っ張らないで、コネクタを持って抜いてください。

●一部のウイルス対策ソフトがインストールされている場合には、動作が不安定になる場合があります。

●本製品にメディアを入れたまま移動したり傾けたりしないでください。
本製品やメディアを破損します。

●本製品を長時間使用した場合は、一旦メディアを取り出し数分おいてから書き込みを行ってください。

●本製品はパソコンの省電力機能には対応しておりません。

MEMO

# てっとり早く DVDを使ってみよう

## 用途に応じて添付ソフトウェアを選択してください。

データDVDをつくりたい

**データライティングソフト**
通常のデータCDやDVDの作成に加えて、簡単作成CD/DVDを作成することもできます。
※他のデータライティングソフトやパケットライトソフトがインストールされている場合には、本ソフトをインストールする前にそれらのソフトをアンインストールしてください。
※DirectX 9がインストールされていない環境では、B's Recorder GOLD9 BASICのインストール時にDirectX 9がお勧めにインストールされます。

**パケットライトソフト**
DVD+RW/+R/+R DL/CD-RW/CD-Rにドラッグ&ドロップ操作でデータを書き込むことができます。
※他のデータライティングソフトやパケットライトソフトがインストールされている場合には、本ソフトをインストールする前にそれらのソフトをアンインストールしてください。

**ドライブコントロールユーティリティ**：パソコンシャットダウン時にメディアの取り出し忘れを防ぐユーティリティソフトです。
（本ソフトは製品版のみbeCrossOverの機能が搭載です。）

## 用途に応じて必要なソフトウェアをインストールしてください。

※Windows Me以外で収録されているソフトをお使いの場合には、管理者権限でログオンしてください。

1 添付のCD-ROMをDVDドライブに挿入します。

※ Windows Vistaでユーザアカウント制御の画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。

2 メニューが表示されたらインストールをする]をクリックします。

3 インストールしたいソフトをクリックします。

4 表示に従ってインストールを進めます。

こんな時には…
インストールするソフトウェアによっては、シリアル番号入力画面が表示される場合があります。その場合、シリアル番号は自動的に入力されますので、そのまま次の画面に進んでください。

5 インストールが完了します。
（再起動が必要な場合があります。）

参照 **シリアル番号/CD-Key**
●B's Recorder GOLD9 BASIC：
●B's CLiP7 ：

## 注意 B's Recorder GOLD ＋ B's CLiPを使用する際のご注意

- 省電力機能を無効（オフ）にしてください。無効（オフ）にしないで書き込みを行うと、書き込みに失敗する場合があります。
- アルセッションマルチボーダー（セッション単位でデータを追記することです。）設置したメディアの使用済み容量を知りたい場合は、[B's Recorder GOLD]の［ユーティリティ］メニューの［情報］を選択してください。エクスプローラの［ファイル］メニューの［プロパティ］を選択すると表示されるの「使用領域」では、OS の仕様により書き込みセッションの容量しか表示されません。
- 書き込みCD-RメディアにマルチセッションCDを書き込みを行った場合、他のドライブではCDの全セッションのみ読み込むことができます。
- 書き込みCD-RメディアにCD-RW/CD-Rメディアは使用しないでください。正常に動作しない場合があります。また、書き込みに失敗した CD-RW/-RW/CD-RW メディアは（B's Recorder GOLD）を使用して、いったんデータを消去した後にご利用ください。
- いったん［B's Recorder GOLD］とネ書込で書き込みを行ったメディアに追記する場合は、必ず［B's Recorder GOLD］とネ書込を使用してください。また、いったん［B's CLiP］とネ書込で書き込みを行ったメディアに追記する場合は、必ず［B's CLiP］とネ書込を使用してください。
- 一度［B's CLiP］でフォーマットした DVD+RW, CD-RW メディアを再フォーマットする場合は、［B's Recorder GOLD］や［B's Erase］ていったん標準消去してから、［B's CLiP］でネフォーマットしてください。
- ［B's Recorder GOLD］にてコピー禁止機能付き DVD を作成する場合には、本起書面［簡単メディア］書にて案内しております メーカー製の CPRM 対応 DVD-R/RW for VIDEO メディアをご利用ください。
- ハードディスクにいったんデータを書き込んでから、メディアへの書き込を行う場合、書き込むファイルと同じサイズの空き容量のハードディスクに必要です。
- B's Recorder GOLD のスラーゴ機能使用時にエラーが発生した場合、［書き込み設定］ウィンドウ内の［エラー発生時の設定］で、「転送速度エラー回避機能」をONにしてください。また、エラー回避機能が常時 ONになっているドライブでは、「高度なドライブ設定」の表示されます。
- 他のCD/DVD ドライブを読み込み元ドライブとして使用する場合の注意
［B's Recorder GOLD］が対応していない DVD/CD ドライブの場合には、読み込みドライブ［コピー元］として利用いただくことができません。その場合は本製品を読み込みドライブとしてご利用ください。
※例）ニ・エイチ・エー対応の場合をお問い合わせください。
- 書き込みデータを書き込んだCD-R/RW メディアを再生するには、再生する CD プレーヤーがCD-R/RW メディアに対応している必要があります。
- Windows 2000 でお使いの場合には、ドライブのデジタル CD 再生を無効にしてください。
- DVD とR/RW メディアに書き込む際、書き込み終了前に一度トレイが空に入れ直して、書き込み終了の画面が表示されるまでメディアを取りだしていください。手が はまれる危険性があります。

## 困ったときには

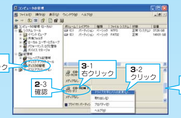
### パソコン接続時の問題

**Q-1 パソコンに接続してもマイコンピュータ（またはコンピュータ）にDVDドライブのアイコンが表示されない。**

対処1 **本紙表面を参照し、Serial ATAケーブル、電源ケーブルを再確認してください。**
各ケーブルの接続がゆるくないかを確認します。

対処2 **ドライブ文字（番号）を変更してみてください。**
他のドライブ文字（番号）と重なり表示されていない場合があります。

1.[マイコンピュータ]（または[コンピュータ]）を右クリックし、表示されたメニューから[管理]をクリックします。
2.[ディスクの管理]をクリックし、右下の画面をスクロールし、DVDドライブの認識があるかを確認してください。
※画面のドライブがある表示はその後に本製品が表示されます。
3.本製品を右クリックし、[ドライブ文字とパスの変更]をクリックします。
4.[変更]（または[編集]）をクリックします。
5.ドライブ文字（番号）を他の機種と重ならないように選択し、[OK]をクリックします。
6.[マイコンピュータ]（または[コンピュータ]）を開き、設定したドライブ文字（番号）が表示されているかどうかを確認してください。




**Q-2 B's Recorder GOLDをインストールしたらマイコンピュータ（またはコンピュータ）に本製品のアイコンが表示されなくなった。**

対処 ビー・エイチ・エー社へお問い合わせください。



### DVD/CD読み込み時（再生時）の問題

**Q-1 DVDビデオが再生できない。**

対処1 **DVD再生ソフトを起動し、再生ドライブに本製品が設定されているかを確認してください。**
※本製品はDVD再生ソフトを添付しておりません。DVDビデオの再生には、別途DVD再生ソフトをご用意ください。（InterVideo社製ソフトウェアを優待販売特別価格にてご購入いただけます。詳しくは、左記[DVDオーサリングソフト等の優待販売]ページにてご確認ください。）

**Q-2 音楽CD、DVDビデオやデータ等が書き込まれたDVD/CDメディアが開けない。**

対処1 **常駐ソフトを停止してください。**

Windows Vistaでの場合
1.[スタート]ボタン→[すべてのプログラム]→［Windows Defender]の順にクリックします。
2.[ツール]→[ソフトウェアエクスプローラ]の順にクリックします。




3.スタートアッププログラムの中から Microsoft_Corporationに関するもの以外の分類を選択し[無効にする]をクリックします。




4.DVD/CDメディアが開けるかどうか確認してください。正常に開けるようになった場合は1～3の手順で1つづつ有効に戻し、問題となる常駐ソフトを特定してください。また、問題となる常駐ソフトは無効にした状態で使用してください。

Windows 2000の場合
画面右下のタスクトレイ上に常駐されているソフトのアイコンを、右クリックやダブルクリックして［停止]、[終了]、[無効]等にしてください。問題となる常駐ソフトが特定できた場合は、問題となるものを止めた状態で使用してください。

Windows XPの場合
1.[スタート]ボタン→[ファイル名を指定して実行]をクリックします。
[名前]欄に[msconfig]と入力し、[OK]ボタンをクリックします。
2.[スタートアップ]タブをクリックし、以下の項目以外のチェックを外し、[適用]ボタンをクリックします。
※全ての項目をよろこ外のチェックの状態を元に戻すことです。
・IMJPMIG
・TINTSETP
・Ctfmon
3.[閉じる]ボタンをクリックします。再起動のメッセージがますので、書き直しにしがってパソコンを再起動してください。
4.パソコン再起動後、DVD/CDメディアが開けるかどうか確認してください。正常に開けるようになった場合は1～3の手順で1つづつチェックを戻し、問題となるものを特定し、問題となるものを外した状態で使用してください。

対処2 **ライティングソフトが複数インストールされている場合は、本製品添付ソフト以外のライティングソフトを全てアンインストールして下さい。**
アンインストール方法はソフトメーカーまたは、パソコンにインストール済みソフトの場合、パソコンメーカーにお問い合わせください。

**Q-3 DVDビデオを再生するとコマ落ちや音とびが発生する。**

対処 **DVD再生ソフトの動作環境を確認し、動作環境に合うようにパソコン環境をアップグレードしてください。**
※本製品はDVD再生ソフトを添付しておりません。別途DVD再生ソフトをご用意ください。（InterVideo社製ソフトウェアを優待販売特別価格にてご購入いただけます。詳しくは、左記[DVDオーサリングソフト等の優待販売]ページにてご確認ください。）

**Q-4 マイコンピュータ（またはコンピュータ）で本製品のアイコンをダブルクリックすると「アクセスできません」や「ファンクションが間違っています」と表示される。**

対処 **データが書き込まれていないメディアをセットしている場合は、このようなメッセージが表示されます。**
書き込み手行ないい場合は、添付のライティングソフトを起動し、書き込みをおこなってください。

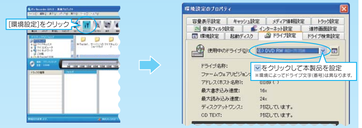
### DVD/CD書き込み時の問題

**Q-1 「メディアをセットしてください」または「ディスクが空でないか、ドライブにディスクが挿入されていません」と表示され、書き込めない。**

対処1 **マイコンピュータ（またはコンピュータ）で本製品が認識されているかどうか確認してください。**
認識していない場合は左記「パソコン接続時の問題 ⇒[Q-1]の対処を確認してください。

対処2 **ライティングソフトを起動し、書き込みドライブに本製品が設定されているかどうかを確認してください。**

B's Recorder GOLDの場合




対処3 **ライティングソフトが複数インストールされている場合は、本製品添付ソフト以外のライティングソフトを全てアンインストールして下さい。**
アンインストール方法はソフトメーカーまたは、パソコンに標準で組み込まれている場合にはパソコンメーカーにお問い合わせください。

対処4 **推奨メディアを使用してください。**
（本紙表面の［動作環境の確認］内［推奨メディア］をご参照ください。）

**Q-2 ライティングソフトで書き込み中にエラーが発生したり、書き込みが正常に終了しない。また、常駐の書き込み速度に設定ください。**

対処1 **ライティングソフトが複数インストールされている場合は、本製品添付ソフト以外のライティングソフトを全てアンインストールして下さい。**
アンインストール方法はソフトメーカーまたは、パソコンに標準で組み込まれている場合にはパソコンメーカーにお問い合わせください。

対処2 **本紙表面の［動作環境の確認］を参照し、動作環境に合うようにパソコン環境をアップグレードしてください。**

対処3 **推奨メディアを使用してください。**
（本紙表面の［動作環境の確認］内［推奨メディア］をご参照ください。）

## お問い合わせ

GOLD9 や B's CLiP で困ったら…

1 ソフトウェアの画面で見るマニュアルを確認する。
［スタート］メニューの[B.H.A]に登録されます。

2 ホームページでサポート情報を見る。
**http://help.bha.co.jp/**

それでも解決しなかったら

3 サポートに問い合わせる。

株式会社ビー・エイチ・エー
テクニカルサポートセンター
**TEL 06-4861-8234**
受付時間：11:00～12:00/13:00～17:00
月～金曜日(祝日・ビー・エイチ・エーの休業日を除く)
※お問い合わせの際はビー・エイチ・エーのユーザー登録が必要です。
**http://www.bha.co.jp/**
●E-Mail・お問い合わせのサポートページよりお問い合わせください。

DVDドライブ本体 や Nero BackItUp & Burn で困ったら…

1 本紙表面の［2.設定しよう］、[3.接続しよう]を参照し、設定などを確認する。
※［QuickDrive LE］については画面で見るマニュアルを確認します。
［スタート］メニューの[I-O DATA]に登録されます。

2 ホームページでサポート情報を見る。
●製品Q&A、Newsなど
**http://www.iodata.jp/support/**
●最新サポートソフト
**http://www.iodata.jp/lib/**

それでも解決しなかったら

3 サポートに問い合わせる。

株式会社アイ・オー・データ機器　サポートセンター
**TEL**[東京] **03-3254-1095**
**TEL**[全国] **076-260-3688**
**FAX**[東京] **03-3254-9055**
**FAX**[全国] **076-260-3360**
[受付時間] 9:00～17:00 月～金曜日(祝日を除く)
※ご提供いただいた個人情報は、製品のお問合せなどアフターサービスおよび顧客満足度向上のアンケートのみに利用させていただきます。これらの利用目的の達成に必要な範囲で業務を委託する場合を除き、お客様の同意なく第三者へ提供、または第三者と共同して利用いたしません。

## 修理について

**修理を依頼される前に、以下の事項をご確認ください。**

**●お客様が貼られたシールなどについて**
修理の際に、製品ご custody 購入することがあります。その際、表面に貼られているシールなどは失われますのでご了承ください。

**●修理金額について**
■保証期間中は、無料にて修理いたしますただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有料となります。
※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。
■保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。
※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
■お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、修理金額の見積をご案内いたします。修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。（見積料は無料です。修理金額をFAXにてご連絡させていただきます。）

**本製品の修理をご依頼される場合は、以下の手順で行ってください。**

**1.メモに控え、お手元に置いてください。**
お送り頂く製品の製品名、シリアル番号（製品に貼付されたシールに記載されています。）、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。

**2.これらを用意してください。**
■必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書（コピー不可）
※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。
■下の内容を書いたもの
・返送先[住所/氏名/あれば FAX番号]　・日中にご連絡できるお電話番号
・ご使用環境（機器構成、OSなど）　・故障状況（どうなったか）

**3.修理品を梱包してください。**
■上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。
■輸送途中の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。
※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、新聞・雑誌にて梱包してください。

**4.修理をご依頼ください。**
■修理は、下の送付先までお送りくださいますようお願いいたします。
※原則として修理品は弊社への持ち込み が前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
■送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

送付先 〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地 アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器 修理センター 宛

■修理品到着後、通常約1週間ほどで弊社より返送できます。
※ただし、有料の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。

## DVDオーサリングソフト等の優待販売について

本製品にはDVDオーサリングおよびDVD再生ソフトウェアを添付しておりません。本製品ご購入のお客様に限りInterVideo社製 DVD作成/再生ソフト（製品版）を特別価格でご購入いただけます。購入をご希望の場合は、下記の手順で優待販売（ダウンロード販売）ページにアクセスし、ご利用ください。
**※インターネット接続環境が必要です。**

1 添付のCD-ROMをDVDドライブに挿入します。 → 2 メニューが表示されたら［ソフトウェア優待販売ページにアクセスする］をクリックします。

以下のソフトウェアなどがダウンロードいただけます

| | |
|---|---|
| DVDビデオを作りたい | DVD MovieWriter 5 |
| ビデオを編集したい | VideoStudio 10 |
| DVDビデオを見たい | WinDVD7 |
| スライドショーの作成に | DVD SlideTheater2 |

**注意**
- ■本優待販売のソフトウェア以外のDVD再生ソフトやオーサリングソフト等をご利用いただく場合、ご使用のソフトウェアメーカー様にて本製品での動作の可否をご確認ください。（弊社ではその他のソフトウェアの動作確認情報などはございません。なお、ソフトウェアメーカー様にて本製品名（InterVideo社製ドライブ名[ADI-7170S]）での動作をご確認ください。）
- ■本優待販売のソフトウェアに、お客様の環境およびドライブとの組み合わせによっては、ドライブの最大性能を発揮できない場合があります。
- ■一度［B's Recorder GOLD］で書き込みをおこなったDVD±RW, CD-RWメディアを、本優待販売のソフトウェアにてご利用になる場合は、先に［B's Recorder GOLD］でメディアの標準消去をおこなってからご利用ください。

## 使用上のご注意

**著作権について**
この製品およびソフトウェアは、あなたが個人的使用を目的として、著作権保有者から複製が許諾を受けている素材を制作する予定および/またはのみをしあるため自分で著作権を有していない場合は、著作権保有者から複製許諾を得ていない場合は、著作権法の律違となり、損害賠償金を含うことがあります。個自身の権利について不明な場合は、法律の専門家にご相談ください。

**本製品のライティングソフトウェアについて**
■本製品は、CPRM対応のDVD-R/RWディスクに録画することができます。ただし、本製品で作成のムライティングソフトで作成した一部の録画禁止信号が含まれている場合には、CPRM対応のDVD-R/RWディスクにしたがわれてご使用のライティングソフトウェアへのご対応いただけません。
■DVD-RW/+RW, CD-RWメディアの消去（初期化）は書き込みを行ったライティングソフトウェアを使用してください。
■「B's CLiP」はCPRMに対応しておりません。

**地域コード（リージョンコード）について**
本製品は、日本の地域コードである2に設定されていますソフトウェアDVDプレーヤーなどの地域コードに設定し直さ、弊社では対応しておりません。

**商標について**
●I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
●Windows Vista™およびWindowsロゴは、米国またはその他国における Microsoft Corporationの商標または登録商標です。
●その他、一般に会社名、製品名はお客様または登録商標です。


記2項）「本製品及びその使用説明書（ディスク・データ等）の複製を禁止します。ただし、本製品の使用の一環または記録を無断で複製、販売、貸与、改ざんすることは法律で認められています。日本やヨーロッパ以外の国、および国際条約による保護の対象外国において、本製品の使用、複製、販売、貸与、改ざんすることは法律で禁じられています。
ソフトウェアおよびハードウェアの一部または全部を無断で複製